

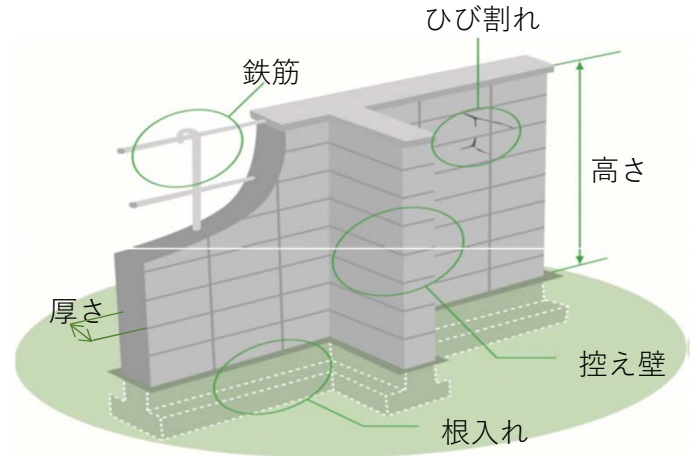
塀等の点検チェックポイント

下記のチェックリストのうち1つでも「×（不適合）」がある場合や、わからないことがある場合は、専門家に相談しましょう！

◆ブロック塀 点検のチェックポイント

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」
日本建築防災協会2013.1より一部改

- 1. 塀の高さは地面から2.2m以下である。
- 2. 塀の厚さは10cm以上である。
※塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上。
- 3. 塀の長さ3.4m以下ごとに、高さの1/5以上突出した控え壁がある。
※塀の高さが1.2m超えの場合のみ
- 4. コンクリートの基礎がある。
- 5. 塀に傾きやひび割れはない。



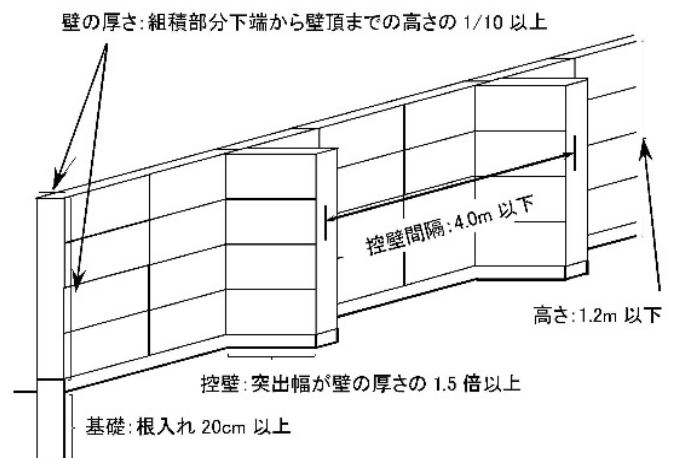
<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っている。
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上。（塀の高さが1.2m超の場合のみ）

◆組積造塀 点検のチェックポイント

※組積造の塀とは、レンガ造、石造、鉄筋が入っていないブロック塀などのことです。

- 1. 高さは1.2m以下である。
- 2. 塀の厚さは、組積部分下端から壁頂までの高さの10分の1以上である。
- 3. 長さ4m以下ごとに、壁面からその部分の壁の厚さの1.5倍以上突出した控え壁がある。
- 4. 基礎がある。
- 5. 著しいひび割れ、破損又は傾斜がない。



(ぐらつき、傾斜がない。ブロックのずれがない。)

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さ（地中部分の深さ）が20cm以上ある。